

丸山自治会 防災マップ ～自分の命は自分で守る～

この防災マップは広島市防災まちづくり基金を活用した防災まちづくり事業により作成したものです。（作成 丸山自治会 令和元年10月）

保存版

- 土砂災害警戒区域（がけ崩れ）
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害特別警戒区域（がけ崩れ）
- 土砂災害特別警戒区域（土石流）
- 想定される浸水深（～0.5m）
- 消火栓 ● 井戸
- 防火水槽 ▲ AED設置場所
- 子ども110番の家
- 自治会で協定を結んだ一時避難所
- 指定緊急避難場所・生活避難場所
- ▲ 防災行政無線受信機設置場所

自治会管理の防災備品

名称	数	保管場所等
防災ヘルメット	4	会長一部役員宅
携帯マイク	2	副会長（防災）宅
自主防ジャンパー	10	集会所二階
LED投光器	2	〃
ブルーシート	7	〃
訓練用横断幕	1	〃
携帯かまど	2	集会所東側倉庫
テント	2	集会所南側倉庫
ロケットストーブ	1	〃
組立式リヤカー	1	〃
車椅子	1	〃
車両用ジャッキ	4	〃
垂木（簡易担架）	4	〃
スコップ（角1丸1）	2	〃
大バール	2	〃
ノコギリ	1	〃
大ハンマー	1	〃
脚立	2	尾長第2公園倉庫
消火用バケツ	5	〃
土嚢用袋（清掃）	20	〃

満水時にマンホールの蓋が外れ
側溝から水が逆流して噴射する

尾長小学校

・3.3m

尾長児童館

尾長第二公園

・18.2m

斜面が崩れそう

瀬戸内高等学校

山根町東集会所

山根町第二公園
・8.7m

丸山集会所

第1次的には使用しない
広島修道院二階が避難所

広島修道院

尾長第一公園

水が流れてくる

一時避難所設置後に開門要請！
（261-1356又は役員へ）

広島修道院正門



注意

- 消火栓付近には車を駐車しないように心がけましょう。
- 地域内の道路は狭くなっています。地震時の避難はブロック塀の倒壊に注意しましょう。
- 土砂災害警戒区域外であっても土砂災害の被害が及ぶおそれがあります。大雨により土砂災害の危険性が高まったときは、安全な場所へ早めに避難しましょう。



広島市の避難情報の流れと丸山自治会自主防災会の対応チャート

災害への備え（自分の命は自分で守る）丸山自治会自主防災会

広島市の避難情報（警戒レベル3）が発令

- 豪雨等で 警戒レベル3 高齢者等避難 が尾長小学校区の土砂災害危険個所に発令され、広島市の開設する避難場所は「尾長小学校」と防災メールである。

一時避難所・自主防本部の開設（会長は修道院と事前協議）

- 広島修道院職員と自主防災会役員により二階講堂に開設開始

自主防災会の緊急連絡網で緊急連絡【高齢者等避難・避難指示、も同じ】

- 携帯電話等、で会長から順次組長まで避難情報の緊急連絡を行い、組長は既把握の電話等で組内に緊急連絡する。（警戒レベル3・警戒レベル4ともに同じ）

自治会会員が広島修道院二階講堂の一時避難所に避難開始

- 自宅から事前に用意した非常持出品を持って直接徒歩で二階講堂に避難する。
- 二階講堂には外階段から入室し「避難者確認表」を受付で記入する。
- 修道院は、避難する自治会会員からの事前連絡（修道院電話 261-1356 又は自治会役員への電話）により「裏門」の解錠を行って、自主防災会役員とともに対応する。

一時避難所・自主防本部の運営

- 自主防災会役員・修道院職員・避難者で健康な人は、協力して「一時避難所」の運営及び「自主防本部」の運営を行う。

以後の対応は、豪雨状況や被害状況により修道院と協議して行う。

非常持ち出し品を準備しておきましょう

緊急に避難しなければならない場合に備えて、避難時に持ち出す最低限のものはリュックに入れて、すぐに持ち出せる場所に用意しておきましょう。

- 水 □非常食 □常備薬 □携帯ラジオ・電池 □携帯電話・予備電池
- 懐中電灯・電池 □衣類 □生活用品 □雨具 □現金 □貴重品など

災害用伝言ダイヤル171 ★忘れてイナイと覚えてください★

災害用伝言ダイヤル「171」（加入、公衆、携帯、PHSで利用可能）

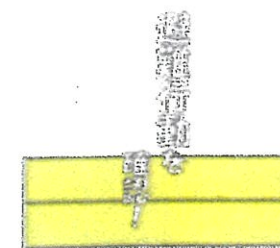
伝言を録音⇒171(音声ガイダンスで)⇒1(選択)⇒市外局番-000-000(被災地-自分番号)⇒録音(30秒)

伝言を再生⇒171(音声ガイダンスで)⇒2(選択)⇒市外局番-000-000(被災地外-被災者番号)⇒再生(30秒)

(体利用日) ・ 毎月1.15(0:00-24:00) ・ 正月3日(0:00-24:00) ・ 防災週間(8/30-9/5 9:00-17:00)

・ 防災とボランティア週間(1/15-1/21 9:00-17:00)

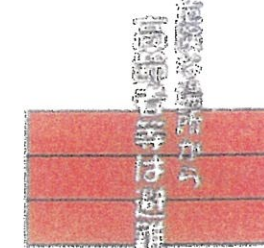
警戒レベル2



大雨・洪水・高潮注意報
危険な区域、避難場所、避難経路の確認



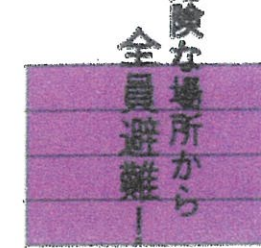
警戒レベル3



高齢者等避難
避難に時間がかかる人は避難



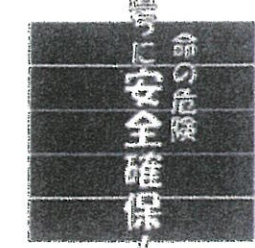
警戒レベル4



危険な場所から
全員避難！
避難指示
非常持ち出し品を持ってすぐに避難



警戒レベル5



緊急安全確保

立退き避難が危険な場合は、少しでも安全な行動を！
※警戒レベル5は、避難指示が発令される段階ではありません。

この警戒レベル3高齢者等避難から緊急連絡網で丸山自治会会員に情報連絡を開始

台風（豪雨）が来そうな時の準備

1 停電への備え

- 懐中電灯などを自分や家族の近くに置く。 ○ 家族全員の携帯電話を充電する。

2 生活用水の確保

- 風呂に水を張る。 ○ 飲料水の確保（水道水を汲んでおく）

3 避難場所の確認（ルートなど）

- 一時避難所は修道院（生活避難場所は尾長小学校） ○ 避難ルートの確認（日常から考えておく）

4 家の中の浸水・風・がけ崩れ等への備え

- 雨戸・カーテンを開けて窓から離れる ○ 2階があれば2階へ避難、家の裏が崖崩れの怖れがあれば、崖がない側の部屋又は2階があれば2階の崖がない側に避難する。

5 自分・家族の備えが済めば隣近所の一人暮らし高齢者や身体の不自由な方への声掛けを行いましょう。

地震への備え（自助）

1 耐震性の向上（耐震補強）が有効！

2 すぐにできることは、家具転倒防止と家具の配置換え（重要）

【家具転倒防止】

地震発生時に、家具の転倒などでケガをしたり、閉じ込められたりしないように準備しておきましょう。

家具の固定～L字型固定金具、家具連結金具、ガラス飛散防止フィルム、転倒ストッパー、落下ストッパー、粘着マット（種類も多くホームセンター等で販売しています。）

【家具の配置換え】

器具などで家具を固定できない場合は、家具の配置換えをして、寝ているところに家具が倒れてこないように家具の向きや位置を変えましょう。

※ 寝室は特に注意！

「背の高い家具は倒れてきても安全な位置に移動」「重いものを棚の下に置くことも大事」「縁縁や鏡は寝る場所から離す」「枕元には重い物や大きい物は置かない」「窓の近くで寝ない。無理なら転倒を窓から離す」「寝るときは厚手のカーテンを引くとガラスの破片が室内に飛び散らない」「寝る場所の近くにスリッパを置いておくとガラスの破片によるケガを防止」

また、廊下や部屋の出入口付近等、避難の妨げになるような場所にも家具を置かないようにしましょう。